

平成20年10月28日（火）

1. 単元のねらい

- 進んで「しあわせな気持ちにする記事」を探し、感想を書こうとすることができる。
- 選んだ記事について自分の考え・感想を原稿に書くことができる。
- 選んだ記事について、自分の考えや感想を含めて効果的に友達に伝えることができる。

2. 単元について

本単元はN I Eの活動の一環として特別に単元化したものである。児童はこれまでに気に入った新聞記事を読み、内容や感想をまとめたり、友達にスピーチしたりする活動を行っている。9月には「1分間スピーチ」の授業を行い、新聞記事を使って効果的に記事の内容や自分の考えを伝える方法を学んできた。

今回は、「しあわせな気持ちになる記事」を探し、その記事を紹介しながら自分がしあわせな気持ちになった理由などを感想文にまとめる活動を行う。そこで、今回も学校放送『伝える極意』の番組「第6回 感想がスラスラ書ける～感想文～」の視聴を行い、感想文の上手な書き方を方法知として学び、書く力の向上を図りたいと考えた。そして、新聞記事の内容や自分の考えなどについてさらに効果的に文章で伝えることができるように指導したいと考えた。

3. 活動計画（全3時間扱い）

第1次 感想文の上手な書き方を学ぼう。（1時間）

学校放送『伝える極意』の第6回放送「感想がスラスラ書ける～感想文～」を視聴し、感想文の書き方についてのポイントを知る。

【感想文】(番組から)

- ①感想文は意見 ②3つのキーワードで意見を出す(なぜ・もしも・どうすれば)
- ③多く使われている言葉に注目 ④な・た・も・だ で文章を組み立てる

「しあわせな気持ちになる」とはどういうことかを全員で考える。

第2次 しあわせな気持ちになる記事を探し、記事をスクラップする。（1時間）

第3次 新聞記事の感想文を書く。（1時間）

400字の原稿用紙に感想をまとめる。

4. 本時の学習

(1) 本時のねらい

- しあわせな気持ちになる記事を進んで探すことができる。
- 新聞記事をスクラップし、記事の大まかな内容を読み取ることができる。
- 新聞記事の内容について、自分の考えをもつことができる。

(2) 本時の展開

児童の活動	◇手立て ◆評価
<p>1. 前時の復習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「感想文」のポイント ・自分たちが考える「しあわせな気持ち」について <p>2. めあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>しあわせな気持ちになるHAPPY記事を見つけてスクラップをしよう。</p> </div> <p>3. 新聞記事をスクラップする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記事のスクラップを行う。 ・記事にアンダラインを引いて大切なところを読み取る。 ・しあわせな気持ちになる理由を考える。 ・記事についての感想などを考える。 ・考えたことなどをワークシートにまとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【要約のポイント】 5W1Hをおさえて書く。 (いつ・どこで・だれが・なにを・どのように・どうした)</p> <p>【感想のポイント】 しあわせな気持ちになる理由が分かるように書く。</p> </div> <p>4. 記事について紹介し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記事をプロジェクタに映して発表する。 (代表児童数名が行う。) ・スクラップした感想を話し合う。 <p>5. 本時の活動を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次時の活動を知り、意欲をもつ。 ・次回は記事の感想文を書くことを知る。 	<p>◇前回視聴した『伝える極意』で学んだ感想文のポイントを掲示する。</p> <p>◇「しあわせな気持ち」を意識するように声かけをする。</p> <p>◇あらかじめ自分が「しあわせな気持ちになる」記事を見つけておくようにさせる。</p> <p>◇記事探しやスクラップの時間を大まかに知らせるようにし、記事紹介の時間が十分にとれるようにする。</p> <p>◆記事の内容を正確に読み取れている。(机間指導)</p> <p>◇机間指導をしながら、作成がうまくいかない児童にアドバイスをするようにする。</p> <p>◆選んだ記事を工夫してスクラップすることができる。(ワークシート)</p> <p>◇要約や感想を書けない児童には支援しながら仕上げるようにする。</p> <p>◇記事のどんなところに感動したのかを中心に発表させる。</p> <p>◇400字の感想文にまとめることも知らせる。</p>

